

今後の検討にあたっての論点(案)

資料4

1. 基本的な考え方

○大きな目標としては、「すべての子どもに質の高い幼児教育を保障すること」と考えられるのではないかな。

○上記の大きな目標を踏まえた上で、無償化の具体的な意義としては、

- ・質の高い幼児教育を受ける機会の拡大
- ・保護者負担の軽減(特に負担の重い多子世帯、低所得世帯)
- ・教育に対する公的責任

といったことが考えられるのではないかな。

○「すべての子どもに質の高い幼児教育を保障する」という目標に照らせば、

- ・保育所の待機児童の解消
- ・教育・保育の質の改善・向上

といった課題の解決に取り組みつつ、段階的に進めていく必要があるのではないかな。

2. 具体的な進め方

○無償化を進める方針の確認

○当面の対策として、無償化の実現の前提となる諸問題の解決に優先的に取り組むべきか。

(例)

- ・すべての子どもに対する幼児教育の機会の保障
 - 待機児童対策
 - 幼児教育を受けていない子どもへの機会の確保
- ・低所得世帯、負担の重い多子世帯への負担軽減
- ・幼児教育の保護者負担の平準化 など

○本格的な制度化に当たっては、1の「基本的な考え方」や必要となる財源を踏まえて、以下のような課題について検討が必要となると考えられる。

(検討課題)

- ・幼稚園、保育所、認定こども園に加え、認可外保育施設等の取扱いをどう考えるか
- ・対象年齢をどう考えるか
- ・所得制限をどう考えるか
- ・対象となる教育(保育)の範囲についてどう考えるか
- ・子ども・子育て支援新制度との関係をどう考えるか
- ・国と地方の役割分担をどう考えるか など